

あなたが採点する

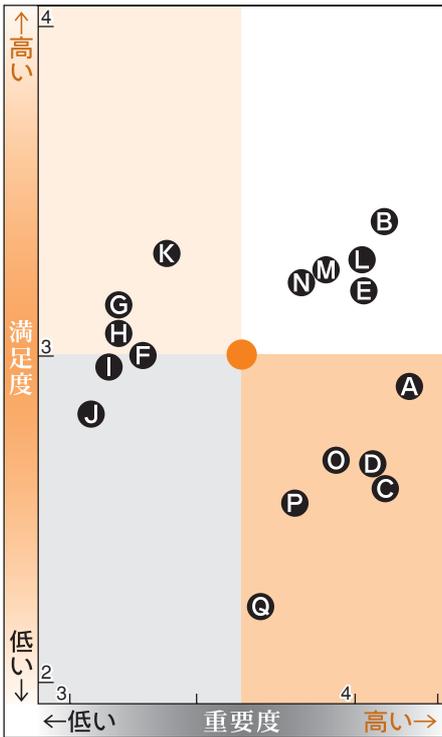
行政の通信簿

市では、(前回平成17年の調査から)2年に1度の割合で世論調査を行っています。今回は、6月に18歳以上のかた2900人を無作為抽出調査し、うち875人から回答をいただきました。調査の内容は、調査項目(52施策と26関連施設)に市民1人当たりの年間事業費と最近の主な事業を記載したうえで、「重要度」と「満足度」を回答していただきました。

施策

52施策の評価結果のうち、重要度・満足度それぞれ評価の高いもの、評価の低いものを5項目ずつピックアップしました。

重要度と満足度の相対図



重要度の上位5項目 (評価)	
A	医療体制の整備 4.338
B	廃棄物対策の推進 4.239
C	雇用・就労の促進 4.227
D	公害対策の推進 4.187
E	病気予防、健康施策の充実 4.151
重要度の下位5項目	
F	コミュニティ活動の充実 3.232
G	市民との情報共有【議会報】 3.146
H	国際交流・地域間交流の推進 3.120
I	市民との情報共有【ホームページ】 3.108
J	男女共同参画社会の推進 3.029
満足度の上位5項目	
B	廃棄物対策の推進 3.355
K	市民との情報共有【広報】 3.265
L	救急救助体制の充実 3.251
M	水資源の確保と安定供給 3.204
N	学校教育・高等教育機関の充実 3.193
満足度の下位5項目	
O	健全な財政の確保 2.674
D	公害対策の推進 2.640
C	雇用・就労の促進 2.623
P	商業の振興 2.555
Q	中心市街地の活性化 2.258

●重要度、満足度の平均値(52施策)

《施策への評価》

重要度の平均は3・7
満足度の平均は3・0

施策では、廃棄物対策、病気予防・健康施策、救急救助体制、水資源の確保と安定供給、学校教育・高等教育機関の充実が白ゾーンに入っています。これらの項目は、市民の要望にマッチして、施策がうまくいっていると考えられます。

医療体制の整備、健全な財政の確保、雇用・就労の促進、公害対策、商業の振興、中心市街地の活性化は濃いオレンジゾーンにあり、市民の強い要望に施策がうまく応じられていないと考えられます。

コミュニティ活動の充実、広報、議会報、国際交流・地域間交流の推進は薄いオレンジゾーンにあり、要望が比較的少なく、施策に満足していると考えられます。

相対図の見方

白ゾーン

右上に位置付けられるほど、市民の要望に応じていて、その施策・施設の運営がうまくいっていると考えられます。

濃いオレンジゾーン

平均より右下に位置付けられたものは、市民からの要望が強いものの、施策や施設がそれにうまく応じられていないと考えられます。

薄いオレンジゾーン

平均より左上に位置付けられているものは、比較的要望が少なく、施策や施設に満足しているものと考えられます。

グリーンゾーン

平均より右下に位置付けられたものは、要望がそれほど無く、その施策や運営に対して、満足していないと考えられます。